



設備女子会からのメッセージ④



私がこの仕事に就いたのはバブルがはじけた直後の1995年。「設備は採らない」「女性は採れない」「修士卒は不要」と、設計事務所、ハウスメーカーにあいさつに行っても門前払いばかりの中、唯一採用試験の機会を与えてくれた設計事務所に、奇跡的に入社できた。

それまで大きな苦労も挫折もしたことはない私は、口の

仕事も家庭も忙しく、充実

悪い周囲に悔しい思いをして、何度泣いたことか。そのうち、社会人には「鈍感さ」が重要と体感してきた。

そして、結婚、2回の育児休暇を経て、仕事以外の大事なこと・時間が大きく占めてくると、その「鈍さ」にも拍車がかかってきたようだ。

今は幸せなことに、仕事も家庭も（苦労も多いけど）楽しく、忙しく、充実している。こんなに長く働いているとは自分でも驚くばかりだが、とりあえずまだ楽しいことの方が多いから、しばらく仕事を続けるか。皆様に感謝。